

おくりもの

阿南市へ

●金100万円

元阿南市教育長 浮橋克己様のご遺族様から

阿南市立図書館へ

●平和図書一式(70万円分)

市役所課長補佐会様から
阿南市社会福祉協議会へ

●金一封

富岡計装経験者の集い様から地域福祉事業活動資金として

以上、ご寄贈いただきましたありがとうございます。

臨時的任用職員

(ごみ収集作業)を募集

募集内容 平成28年度に環境管理事務所において、臨時的に勤務する職員を募集します。
応募資格 昭和29年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた方

採用予定人員 8人程度

賃金 月額95,000円

勤務時間 原則として月曜日

～金曜日の午前7時30分～午後4時15分

申込方法 人事課備え付けの「申込用紙」に必要事項を記

入のうえ、人事課へ申し込んでください。「申込用紙」は、2月9日(火)以降にお渡しします。

申込期間 2月9日(火)～25日(木)の午前8時30分～午後5時15分(土、日曜日および国民の祝日は除く)

試験内容 面接試験および体力テストを実施します。

試験日 3月2日(水)

※記載された個人情報等は目的以外に使用しません。

問い合わせ 人事課(☎22-11112)へ

第6回阿南市

人権教育・啓発市民講座

日時 2月23日(火) 午後2時～3時30分

場所 文化会館1階 視聴覚室

演題 「自分らしく生きる」

～性別違和を乗り越えて～

講師 NPO法人 Japann GID Friends 理事長 合同会社 インスパイア代表 清水展人さん

※託児あり。2月15日(月)までにお申し込みください。

※お車でお越しの方は、乗り合わせにご協力ください。

問い合わせ 人権・男女参画課(☎22-13094)へ

お元氣ですか

市長通信



阿南市長 岩浅嘉仁

今村明恒と富岡地動観測所

「南海トラフに起こる次の大規模な地震は、2038年頃になると予測されている。このような長期予測が巨大地震について公表されている実例は、今のところ一つだけで、そのような地域は世界的に見ても珍しい、というよりも、他にはない」。…序文においてこのようなセンセーショナルな記述がされた本が、昨年3月1日出版された。題名は『2038年 南海トラフの巨大地震』(マニオアルハウス発行)。著者は尾池和夫氏。1940年、東京生まれ高知育ち。1963年、京都大学理学部地球物理学科卒業。2003年から約5年間、京都大学第24代総長を務め、現在は京都造形芸術大学学長であり、この間、地震学会委員長や日本ジオパーク委員会委員長等を歴任している。

今年「昭和南海地震」

から70年。「東日本大震災」から約5年。地震予知の充実と減災のあり方を考える節目の年といつてもいいでしょう。私たちは「いずれ」「やがて」「いまに」襲ってくる大地震に備えておくことで、被害を最小限にしなければなりません。正確に「いつ」起きるといふことを予測することは今でも不可能です。

今村明恒(1870～1948年)氏は、東京大学助教授として、津波は海底の地殻変動を原因とする説を初めて提唱し、1905年に今後50年以内に東京で大地震が発生すると警告し、恩師や当時のマスコミから「ホラ吹きは今村」と中傷されました。しかし、その警告が現実のものとなり、1923年、関東大震災が発生。世間は一転、「地震の神様」とたたえるようになりまし

そして彼は次の大地震は南海地震と考え、和歌山、京都等8力所に地震観測所の設置を進めました。そして1929年、その一つとして現在の牛岐城趾公園にも観測所を完成させました。この施設は1939年、太平洋戦争の激化により廃止されるまで業務を続けました。この間、毎日の観測作業は旧制富岡高等女学校(現富岡東高校)の近藤末吉教諭や女学生、後には役場が行いました。これらの観測成果は1944年の東南海地震や2年後の南海地震予知につながっていきま

ました。今村教授は1946年の南海地震の発生を警告し、県や各市町村をはじめ関係機関に訴えましたが、戦後の混乱した世相もあり無視され、教授は南海地震の翌年、失意のうち78歳で逝去されました。

今村教授の信念は、災害に備えておくことで被害を最小限にしなければならぬことでした。南海トラフに住む私たちが心しなければならぬ信条です。



富岡町城山に設置されていた富岡地動観測所